

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市太白障害者福祉センター	
2 指定管理者	社会福祉法人仙台市障害者福祉協会	
3 指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日	
4 施設の利用状況	《利用者数》 ・ 令和3年度 5,567人（前年度比 107.2%） ・ 令和2年度 5,193人（前年度比 51.3%） ・ 令和元年度 10,131人（前年度比 99.2%）	
	《事業》 ○貸館事業：障害者の自主的な活動及び障害者の福祉に関する市民の自発的活動のための施設の提供その他の援助 ○障害者の福祉に関する講習会の開催その他福祉に関する啓発活動	
5 収支の状況	《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 27,579千円（26,826千円） ・ その他市が負担した費用 941千円（750千円） 《収入》 ・ 使用料収入 0千円（0千円） ・ その他収入 0千円（0千円）	（ ）は前年度決算額
6 利用者の声	《実施状況》 利用者アンケートは平成20年度から実施。今年度の回答件数は110件。挨拶、言葉づかい、説明、身だしなみ、清潔、印象の6項目について5段階評価。全項目で平均4点以上と高い評価を得ている。	

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	協定書及び仕様書に則った管理運営がなされている。センターの事業推進については、館内法人との打合せを行い、条例や運営要領、基本方針等の共有理解を図っている。また、障害当事者と協力しながら、地域の障害者福祉の中心的な役割を果たしている。	24/24
II 施設の運営管理体制	個人情報や情報セキュリティ、事故防止対策への取組みなど、研修やマニュアル作成等により職員への周知を図っており、適切な運営が行われている。 また、災害発生時に備え、職員の行動マニュアル策定や、避難訓練を実施しており、近隣施設や地域との連携にも努めている。	24/24
III 施設・設備の維持管理	清掃委託業者のみならず、職員も保守点検チェックシートに基づき、定期的に館内を巡回し、利用者が安全かつ快適に利用できる環境を維持する取組みが行われている。 また、仙台市環境行動計画を基に節電、節水、ごみの減量等に取り組むなど環境に配慮した取り組みを進めている。	24/24
IV サービスの質の向上	全職員を対象にしたマナーアップに関する研修を開催し、利用者に対する接客マナーの向上に努めている。利用者アンケートでも全ての項目において平均4点（満足）以上と高い評価を得ており、アンケートの内容に対しては対応策を含めた回答を公表している。	28/28
V 施設固有の基準	日常的に敷地内の点字ブロックや通路等を点検し、利用者にとって利用しやすくなるよう、施設の維持管理を行っている。 講座等の募集時、町内会の回覧板や市政だよりを含め、広く周知している。また講習会や啓発活動を行った後は、毎回アンケートを実施し、障害の有無に関わらず幅広く障害福祉の普及に向けて企画できるよう、ニーズの把握に努めている。	9/9

三 評価総括

《指定管理者（仙台市障害者福祉協会）による自己評価》
<p>仙台市太白障害者福祉センターでは、指定管理期間（平成29年度～令和3年度）の5年目にあたる令和3年度は、新型コロナウイルス感染予防に十分に留意して、指定管理者事業計画書に基づいて以下の事業に取り組んだ。</p> <p>在宅障害者・一般市民向け事業は、余暇活動・障害者スポーツを6回企画して、参加者延べ29名に余暇活動の充実を図った。なお、1回はセンター利用者に新型コロナウイルス感染者が発生したため中止した。障害者週間事業では、利用者作品展コンサート、創作教室を通して、期間中の来館者延べ173名に障害理解普及啓発を行った。センターが持つ専門性を地域に還元する取り組みでは、新型コロナウイルス感染症拡大により外出活動を控えている福祉施設からの依頼を受けて、当センターの専門職が出前講座を1回実施して12名の参加があり、地域リハビリテーション促進の一助となった。</p> <p>地域防災力の強化に係る取り組みでは、上級救命講習、仙台市シェイクアウト訓練に加え、洪水発生を想定した垂直避難訓練、人工呼吸器装着児者などの電源確保訓練を行い、避難者の受け入れ体制を強化した。また、令和4年3月16日（水）に発生した福島沖地震では、福祉避難所開設要請に対応するため、職員が参集し、館内設備復旧及び福祉避難所開設準備を行った。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の拡大により、貸館利用団体の活動が減少する中、貸館団体や当センターの活動紹介、及び各事業の中で制作した作品展示を行い、期間中の来館者延べ285名に新たに交流する機会場の場を設けた。また、貸館利用団体の活動にあたっては、仙台市のガイドラインに則った感染予防対策を説明の上、当該対策の案内と消毒用品を貸し出し、感染対策を強化した。</p> <p>次期指定管理期間（令和4年度～令和8年度）においても、障害者福祉の地域拠点機能を担い、災害時には福祉避難所を運営できるよう役割を果たしていきたい。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>施設内の他法人との連携を図りながら、協定書及び仕様書に基づいた適切な施設の管理運営がなされている。</p> <p>今年度もコロナ禍により一部実施が難しかったが、センター内にとどまらず、町内会や民生委員、近隣学校と連絡調整を行ったり、適宜アンケート等で希望等を把握しながら、地域住民を広く対象とした各種講座やイベントの開催を継続して行なう等、障害者福祉の普及啓発に努めている点で、施設の設置目的を果たしていると評価できる。</p> <p>また、洪水発生を想定した垂直避難訓練や福祉避難所開設訓練、人工呼吸器装着児者の電源確保のための一時避難受入れの確認など、災害時発生時の体制の構築を図っている。</p>	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：健康福祉局障害福祉部障害者支援課